

(一社) 九州観光推進機構 活動レポート

— 2019 年 12 月号 —

主なトピックス

シンガポール市場 九州の離島をテーマとした情報発信事業 BtoC セミナー 1P

第 5 回理事会の開催 2P

2019 年度第 2 回九州各県国内担当者会議及び第 2 回九州観光素材説明会担当者会議

3P

◆ 11月のトピックス

○シンガポール市場における九州の離島をテーマとした情報発信事業 BtoC セミナー

(11/2、シンガポール)

シンガポールにおいて離島をテーマとした九州観光セミナーを開催しました。シンガポール市場は FIT 化で個人旅行が 9 割弱を占め、旅行者のニーズが多様化してきていると言われております。当日は 200 名を超える参加者が来場し、離島に対する関心の高さが伺えました。セミナーMC は、シンガポールで影響力を持つインフルエンサーにお願いしました。訪日経験が豊富で、8 月には実際に九州の離島を視察していただいたことから、日本の他の地方との比較も時折交えながら九州の離島の魅力を PR していただきました。



シンガポールが位置する東南アジアにはインドネシアのバリ島やタイのプーケットをはじめ、リゾートアイランドが多くあります。そのため、九州の離島の競争相手は多いですが、バラエティーに富み、平穏、住民との交流がし易い、離島の文化や歴史にも触れられるといった九州の離島の魅力を継続して発信し、1 名でも多くのシンガポール人旅行者に足を運んでもらえるように PR を行って参ります。



○JNTO 主催・機構協力 JNTO マーケティング研修会 in 九州の開催

(11/8、福岡)

日本政府観光局 (以下、JNTO) 主催、当機構協力で「JNTO マーケティング研修会 in 九州」が開催され、観光関連事業者や団体、自治体などから 80 名以上の方に参加いただきました。研修会では、「JNTO 観光コンテンツ収集事業からみる観光コンテンツ造成のポイント」「今日から実践するデジタルマーケティング」「オープンデータから見る地域特性と分析手法」の 3 つのテーマについて、実際にそれらの業務にあたっている JNTO の職員が講演を行いました。

参加者からは、「JNTO の取り組み(事業や調査結果)が分かり、今後の対策として参考にしたい。」「弊社の SNS で早速実践できそうなお話が聞けてよかったです。」など、実践的な講演内容に対して高評価をいただきました。

○第5回理事会の開催

(11/14、福岡)

今年度第5回理事会を開催し、理事14名、監事1名他の出席をいただきました。会議では、2019年度の事業実施状況や事業計画の変更・補正予算等を諮り、原案どおり承認をいただきました。



○フランスにおいて九州観光セミナーの開催

(11/14、フランス)

フランスに設置しているレップの活動の一環として1年に2回の旅行会社及びメディア向けセミナーを実施しております。その第1回目を11月14日にパリにて開催いたし、旅行会社及びメディアから13社15名に参加いただきました。旅行会社に対しては、九州をめぐる具体的な行程表を提示し、その行程表に即し、嬉野のティーツーリズム、五島や小値賀の古民家ステイ、平戸の城泊、八女の伝統工芸などの旅行素材を紹介しました。

一方メディアに対しては、予めレップより九州の陶磁器の紹介の要望を受けており、伊万里焼を中心に九州の陶磁器紹介を行いました。主な話題には、①磁器のモチーフについて、②伝統と現代の融和、③陶芸家のキャリアについて等が上がりました。



○タイの家族連れ層へのメジャーブロッガーによる情報発信事業 招請 (11/20-25、九州7県)

タイからの訪日旅行者は子供連れ層が他市場よりも多いため、子供連れのメジャーブロッガーを招請し、情報発信を行う事業を実施しています。タイのインフルエンサーは飽和状態にあるため、ある程度メジャーでないと十分な情報発信が見込めないことから、SNSのフォロワーが1,000万人を超える女優であり、メジャーブロッガーの Pat Napapa さんをお子さんと一緒に招請しました。また、同氏に加え、子育て世代に影響のあるインフルエンサーを2名招請しました。視察先には、高千穂牧場やいおワールド鹿児島水族館、くまモンスクエアなど子供が楽しめるスポットを織り交ぜながら、九州での子供連れ旅行について情報発信を行いました。今後も、タイ市場における幅広い情報発信を図っていきます。



高千穂牧場（宮崎県）



くまモンスクエア（熊本県）

○2019年度第2回九州各県国内担当者会議及び第2回九州観光素材説明会担当者会議

(11/27、福岡)

九州各県・観光連盟、当機構国内誘致推進担当者による「2019年度第2回九州各県国内担当者会議」を開催しました。来年度の国内誘致推進部事業取組方針を中心として、「主要都市プロモーション」及び「修学旅行の需要喚起」を重点項目として取組んでいくことについて説明を行いました。

上記会議に引き続き「2019年度第2回九州観光素材説明会担当者会議」を開催し、「2020年度上期九州観光素材説明会・相談会」の振り返り及び「2020年度下期九州観光素材説明会・相談会」の内容検討を行いました。会議では、説明会参加旅行会社からのアンケート内容について検討し、参加者が求める九州の素材をPRできるよう意見交換を行い、九州への更なる誘客を進めていくため、九州7県一丸となった取り組みが必要である事を確認しました。

(国内担当者会議参加者：各県・連盟23名、当機構7名)

(説明会担当者会議参加者：各県・連盟23名、当機構5名)

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載 (12/13)

「九州観光関連の最新統計データ」を会員向け情報ページにアップしました。九州への入国外国人数（2019年9月確定値/2019年10月速報値）、九州における延べ宿泊者数（2019年9月第2次速報値）などを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、IDとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 12月以降の主な事業

- ・第2回修学旅行担当者会議（12月9日、福岡）
- ・アドベンチャーツーリズムを活用した欧米豪からの来訪者戦略会議（12月12日）
- ・九州修学旅行現地視察会（12月21・22日）
- ・中国市場におけるKOLを活用したFIT誘客促進事業 招請（11～12月）
- ・せとうちDMOと連携した英国旅行会社 招請（12月3～6日）
- ・シンガポールBtoCセミナー（12月7日）
- ・フランス・パリのレップ機能委託に伴う招請(12月10～16日)
- ・Japan Roadshow 2019 出展（12月5日：ブリスベン、12月9日：シドニー）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 九州観光広報センター 野間

TEL:092-751-2943 (代表)

092-751-2946 (国内誘致推進部^タヤルイン)

092-751-2947 (海外誘致推進部^タヤルイン)

092-751-2951 (九州観光広報センター^タヤルイン)

FAX:092-751-2944

E-mail : infokvushu@welcomekyushu.jp